九州地方

名前

問1　日本の農業に関する2021年の統計において、茨城県の農業産出額は約4263億円でそのうち野菜が35.9%を占めており、宮崎県の農業産出額は約3478億円でそのうち畜産が66.4%を占めています。これらのデータから読み取れる内容として正しいものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 茨城県の野菜産出額は、宮崎県の畜産産出額よりも多い。
2. 宮崎県は農業産出額の総額において、全国で最も高い数値を示している。
3. 宮崎県の畜産産出額は、茨城県の野菜産出額よりも多い。
4. 茨城県は野菜の産出割合が最も高いため、産出額の合計も宮崎県より少ない。

問2　北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。（2023年 茨城県公立入試 類似）

1. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火事が発生しやすいリスクがある
2. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である
3. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている
4. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある

問3　九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 対馬海流
2. 親潮（千島海流）
3. リマン海流
4. 黒潮（日本海流）

問4　宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため
2. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため
3. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため
4. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため

問5　地形図において、標高の低い谷状の土地や川の周辺に、二本の横線に短い縦線が添えられた地図記号（水田）が多く配置されていることがあります。このような低地が水田として広く利用されている理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 川に近く、稲作に必要な水が得やすいため
2. 地盤が安定しており、大規模な工業団地を建設するのに適しているため
3. 水はけが非常に良く、常に乾燥した状態を保てるため
4. 標高が低く、森林や果樹園にするには日照時間が不足するため

問6　九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
2. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。
3. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
4. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。

問7　茶の生産量で全国1位の静岡県（36%）に対し、生産額で静岡県（28%）を上回り全国1位となっている鹿児島県の茶生産の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 寒冷な気候に耐えられる品種改良を行い、他県が生産できない冬の時期に出荷を集中させている。
2. 急峻な山間部の地形を活かし、霧の発生しやすい環境で手摘みによる高級茶生産に特化している。
3. シラス台地などの広大な平坦地を活用し、大型機械を導入した効率的な大規模生産が行われている。
4. 都市近郊の立地を活かして、生産された茶のほとんどを加工せずに新鮮な状態で消費地に直接販売している。

問8　九州地方のある県における2019年の農産物産出額の統計では、上位から順に「肉用牛」、「豚」、「ブロイラー（鶏）」、「鶏卵」となっており、上位4品目すべてを畜産関連が占めています。このような特徴を持つ県として最も適切なものを選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 熊本県
2. 福岡県
3. 宮崎県
4. 鹿児島県

問9　九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。
2. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。
3. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。
4. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。

問10　地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいますか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. カルデラ
2. 盆地
3. 火口
4. 扇状地

問11　九州南部のシラス台地では、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および豚や鶏などの畜産が盛んに行われてきました。このように土地が利用されてきた理由を、地形や土壌の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 土壌に塩分が蓄積しやすい性質があり、塩害に弱い稲の栽培には適していないから。
2. 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。
3. 台地が平坦ではなく急斜面が多いため、大規模な水田を整備する物理的な余地がないから。
4. 標高が高く一年を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足しているから。

問12　九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。（2020年 広島県公立入試 類似）

1. 三角州
2. カルデラ
3. シラス台地
4. 扇状地

問13　宮崎平野や高知平野で行われている促成栽培には、生産者にとってどのような利点があるか。最も適切な説明を選べ。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 消費地である大都市に近いため、新鮮なまま輸送コストを安く抑えられる。
2. 夏の冷涼な気候を利用して、暑さに弱い野菜を品質良く栽培できる。
3. 広大な土地を利用して、大型機械を使った効率的な生産ができる。
4. 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 宮崎県の畜産産出額は、茨城県の野菜産出額よりも多い。	宮崎県の農業産出額（約3478億円）の66.4%を計算すると約2309億円となります。対して、茨城県の農業産出額（約4263億円）の35.9%は約1530億円です。このように、全体の産出額では茨城県が上回っていても、特定の品目（宮崎県の畜産）の占める割合が非常に高い場合、実際の産出額において逆転現象が起こります。統計資料を読み取る際は、割合（%）だけでなく、元となる総額を考慮することが重要です。
問2	答え 3 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている	火山は、降灰による農作物への被害や、噴火による建物・インフラの破壊といった災害リスクを地域にもたらします。しかし同時に、有珠山周辺の洞爺湖のような美しい景観や、地熱による温泉、そして肥沃とはいえないまでも特殊な土壌を生み出すなど、観光業を中心とした大きな経済的恩恵ももたらしています。このように、自然の脅威と恵みの両面を理解することが地理学習では重要です。
問3	答え 1 対馬海流	この海流は、黒潮（日本海流）から分かれて日本海へと流れ込む暖流です。九州の西側を通り、南西から北東方向へ向かって北上することで、日本海側の地域の気候や漁業に大きな影響を与えています。
問4	答え 2 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため	宮崎県で盛んな促成栽培の最大の目的は、経済的な利益を高めることにあります。多くの地域で栽培が難しい冬から春にかけて、ビニールハウスで温度を管理して出荷することで、供給不足により価格が上がった市場で有利に販売することができます。これに対し、夏の涼しさを利用して出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、長野県などの高冷地で見られます。
問5	答え 1 川に近く、稲作に必要な水が得やすいため	川の周辺や谷状の低地は、周囲に比べて標高が低いため水が集まりやすく、農業用水を確保するのに非常に有利な条件を備えています。米作り（稲作）には大量の水が必要となるため、こうした地形的特徴を活かして古くから水田として利用されてきました。
問6	答え 4 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問7	答え 3 シラス台地などの広大な平坦地を活用し、大型機械を導入した効率的な大規模生産が行われている。	鹿児島県の茶生産は、広大で平坦なシラス台地の地形的利点を活かしている点が大きな特徴です。乗用型の大型摘採機などの導入による機械化が進んでおり、労働生産性が高いことが生産額の増加につながっています。また、温暖な気候を活かして全国で最も早く新茶を出荷できるため、単価が高くなりやすく、生産額で1位となる要因となっています。
問8	答え 4 鹿児島県	鹿児島県は九州地方の南部に位置し、広大なシラス台地を利用した畜産業が非常に盛んです。特に肉用牛、豚、ブロイラーの産出額は全国でもトップクラスであり、農業産出額の多くをこれらの畜産品が占めているのが特徴です。選択肢にある宮崎県も畜産業は盛んですが、この統計順位に最も合致するのは鹿児島県です。
問9	答え 2 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。	日本の茶の生産は静岡県と鹿児島県の2県が突出しており、鹿児島県は全国第2位のシェアを誇ります。九州地方には宮崎県や福岡県といった産地もありますが、生産量において最も多いのは鹿児島県です。近畿地方の京都府なども茶の産地として有名（宇治茶など）ですが、生産量ベースでは鹿児島県や静岡県が上位を占めるのが現状です。
問10	答え 1 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが大量に放出されると、地下に空洞ができます。その上の部分が自重で崩れ落ちることで、数キロメートル以上にわたる広大なくぼ地が形成されます。鹿児島県の桜島北方（姶良カルデラ）や、熊本県の阿蘇山などが代表的な例です。一般的な火口よりも規模が格段に大きいのが特徴です。
問11	答え 2 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。	シラス台地の土壌は火山の噴出物で構成されているため、水持ちが悪く、常に水を張っておく必要がある水田には向いていません。そのため、乾燥に強いサツマイモや、排水を好む茶などの畑作が発展しました。また、栽培された飼料作物を利用した肉用牛、豚、鶏などの畜産業も、この土地の特性を活かした産業として大規模に展開されています。
問12	答え 3 シラス台地	九州南部には、火山の噴出物が堆積してできた広大な台地が広がっています。この地形は水分を保持しにくく水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。その一方で、現代ではその広大な面積を活かした大規模な畑作や畜産業の基盤となっています。
問13	答え 4 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。	促成栽培は、冬でも暖かい気候やビニールハウスを利用して野菜を早く育て、他の産地からの出荷が少ない冬から春にかけて出荷することで、高値での販売を狙っています。「輸送コスト」は近郊農業、「冷涼な気候」は抑制栽培、「大型機械」は北海道などの農業の特徴です。